

眼科

1. 概要

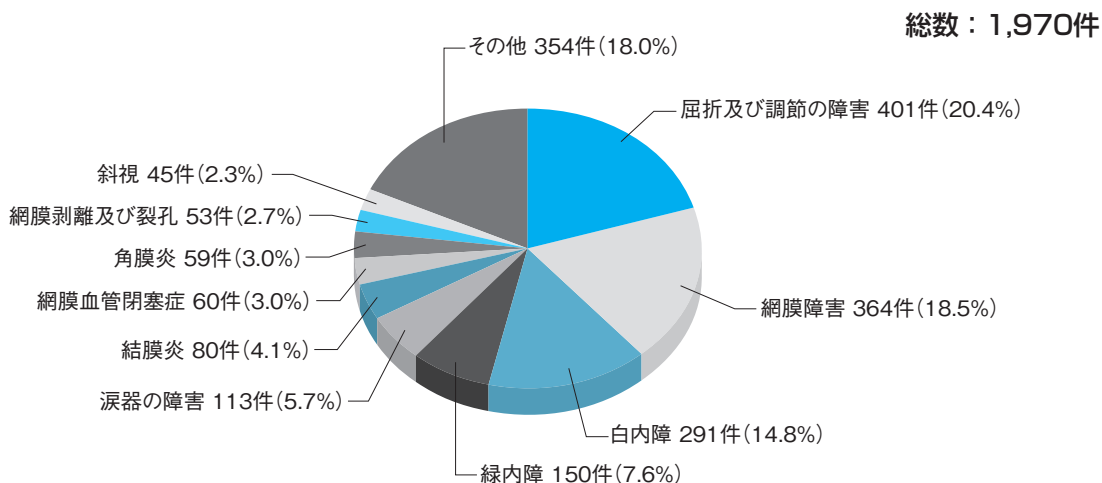
白内障手術においては、+1.5D 加入眼内レンズおよびトーリック眼内レンズ（乱視矯正用眼内レンズ）の使用が増加した。今後、多焦点眼内レンズも使用開始予定である。また、日帰りで外来白内障手術が新たに開始となった。今後、白内障手術については順次、入院手術から外来手術への移行を図る予定である。

緑内障手術については MIGS の適応が拡大し、マイクロフックを用いた線維柱帯切開術の手術件数が増加した。硝子体手術とともに、低侵襲手術化がすすんでいる。

手術室において看護師・臨床工学士と協力してさらなる業務の効率化を検討中である。眼科外来においては、新しいレーザー装置の導入により、従来の網膜光凝固に加え、パターンレーザーが施行可能となった。今後、閾値下レーザーも開始予定である。

（部長 佐川 宏恵）

2. 新規登録疾患



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
屈折及び調節の障害	乱視	386	H522
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	169	E143
	黄斑及び後極の変性	116	H353
白内障	乳児, 若年及び初老期白内障	114	H260
	老人性白内障, 詳細不明	61	H259
緑内障	緑内障, 詳細不明	77	H409
	原発開放隅角緑内障	35	H401
涙器の障害	涙腺のその他の障害	96	H041
	涙道の狭窄及び不全	11	H045
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	52	H109
	急性アトピー性結膜炎	26	H101
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	51	H348
角膜炎	角膜潰瘍	20	H160
	角膜炎, 詳細不明	18	H169
網膜剥離及び裂孔	網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの	26	H330
	網膜裂孔, 剥離を伴わないもの	18	H333
斜視	間欠性斜視	11	H503

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	20,434人	年間外来新患者数	1,615人
年間入院患者数	3,778人	年間入院新患者数	780人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	人数(人)	疾患名	人数(人)
白内障	523	斜視	5
黄斑前膜	56	網膜下出血	4
緑内障	56	網膜裂孔	3
糖尿病網膜症	40	眼窩蜂窩織炎	2
網膜剥離	37	眼内炎	2
黄斑円孔	12	外傷・眼球破裂	1
増殖硝子体網膜症	11	角膜潰瘍・角膜炎	1
硝子体出血・混濁	8	硝子体黄斑牽引症候群	1
視神経症	6	硝子体脱出	1
角膜穿孔	5	網膜中心動脈閉塞症	1
眼内レンズ脱臼	5	計	780

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	527
網膜光凝固術 (PHC)	248
レーザー後発白内障切開術 (YAG)	103
レーザー虹彩切開術 (LI)	35
涙点プラグ挿入	12
睫毛電気分解	7
レーザー線維柱帯形成術 (LTP/SLT)	6
霰粒腫摘出術	3
計	941

②外来特殊検査件数

検査名	件数(件)
光干渉断層撮影 (OCT)	10,240
動的量的視野検査	823
静的量的視野検査	574
蛍光眼底撮影	409
眼鏡処方	219
計	12,265

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	682
硝子体茎顕微鏡下離断術	161
流出路再建術	53
翼状片手術	20
縫着レンズ挿入	8
霰粒腫摘出術	7
斜視手術	7
増殖性硝子体網膜症手術	7
硝子体切除術	6
眼窩内腫瘍摘出術	5
結膜肉芽腫摘除術	5
角膜・強膜縫合術	3
眼瞼下垂症手術	3
結膜縫合術	3
硝子体注入・吸引術	2
眼瞼腫瘤切除術	2
前房、虹彩内異物除去術	2
内反症手術	2
濾過胞再建術	2
角膜・強膜異物除去術	1
眼窩内容除去術	1
結膜下異物除去術	1
計	983

研究会発表（医局）

<眼科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	真菌性眼内炎に黄斑部網脈 絡膜滲出斑を伴った一例	筆頭演者	高士 典子	東三河眼科研究会	豊橋市	2019/10/17	